

江戸川区篠崎公益複合施設（篠崎文化プラザ）の運営

※管理運営は指定管理者（篠崎 SA パブリックサービス）

自治体情報

人 □ 675,500 人

標準財政規模 165,102,891 円

担当課 東京都 江戸川区 文化共育部文化課

電話 03-5662-0300

ホームページ <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

事業期間 平成 20 年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取り組みに至る背景

篠崎駅西口周辺の土地区画整理事業により創出した土地に、民間事業者が民間資金により複合ビルを建設。区がビルの一部を買い取り、公共施設「篠崎文化プラザ」として整備。

2 事業内容（目的・目標・方策）

この施設は、江戸川区の歴史・文化・産業などを紹介する企画展示機能や、図書館、総合人生大学の拠点キャンパス機能を融合させ、江戸川区の魅力（自然・文化・地域資源等）を全国にアピールできる複合施設として平成 20 年 7 月 6 日に開設。

文化施設と教育施設の複合施設である本施設の運営については、区長部局と教育委員会の垣根を超えて、区長部局で一体的に行うことにより、効率的かつ効果的な運営を目指した（指定管理者制度を導入）。

【企画展示ギャラリー】区の歴史・文化・産業などの情報を年間 4 テーマについて（概ね 3 ヶ月ごとに入替）様々な手法で展示し、全国に向けて江戸川区の魅力を発信する。

【伝統工芸カフェ】区の特産品や伝統工芸品で彩られたカフェ。本区特産品である小松菜を使用したメニューも提供。また、伝統工芸品や特産品も販売。

【篠崎図書館】書斎のような雰囲気のブラウジングコーナーでゆったりと読書ができ、インターネット環境を整えたビジネス支援ができる大人向けの区立図書館（児童書は置かない）。蔵書数は約 6 万冊。

【江戸川総合人生大学】地域貢献を志す人々を応援するために、平成 16 年 10 月に区が設立した「共育・協働」の学びと実践の場。篠崎文化プラザを拠点キャンパスとする。



3 施策の開始前に想定した事業効果

企画展示や図書館、総合人生大学の機能を融合させ、一体的な運営を行うことで施設の魅力を高め、周辺地域が文化的なグレードの高いまちへと変貌することを願った。

4 導入にあたり工夫・苦勞した点、課題、対処法など

役所の縦割り行政から脱却した施設運営を行うことに不安もあった。しかし、文化施設である「企画展示ギャラリー」と教育施設である「図書館」の運営を、すべて区長部局で一体的に行った結果、相乗効果により大きな成果が表れている。

なお、本区では平成 20 年 4 月から、従来、区長部局で担当していた文化施策と、教育委員会で担当していた健全育成やスポーツ、図書館などの施策を一体的に担当する「文化共育部」を区長部局に新設し、この施設の運営も担当しているところである。

5 現在の成果・実績、今後の展開など

指定管理者制度の導入により、夜 9 時 30 分までの開館や独創的な自主企画の実施など開設以来、約 37 万 6 千人の利用（平成 21 年 6 月末）があり、各方面から高い評価をいただき、他自治体からの問い合わせも多くきているところである。企画展示のテーマや総合人生大学の授業内容に合わせた図書の収集や展示、また、総合人生大学の講義室を活用し、図書館が有料の講座講習を企画するなど、複合施設であることを活かし、民間のノウハウを取り入れた住民サービスを展開している。

先般、特区法が改正になり、社会教育施設の管理・整備に関する権限を首長へ移譲する特区の創設が可能になったが、本施設の取り組みはまさに、この法改正の趣旨を先取りしたものである。先駆者として更に魅力的な施設運営を行っていきたい。

予算関連データ 江戸川区

| 平成 20 年度額 ①～⑤の計 | | 財源内訳(財源区分:①～⑤) | | | | |
|--------------------|-----|----------------|------|------|------|------------|
| | | ①国費 | ②県費 | ③起債 | ④その他 | ⑤一般財源 |
| 172,864 千円 | | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 172,864 千円 |
| ①～④の名称・所管等 | 名称 | | | | | |
| | 所管 | | | | | |
| | 金額 | | | | | |
| | 補助率 | | | | | |